

犬 走 り

耶馬溪曾木にあり。激湍奔流して、泡沫四散する所、岩角  
點々頂を露はし、眞に造化の妙技を極む。河原に出で、下  
流の石に踞して、觀望するを宜しとす。



官幣大社宇佐神宮

宇佐町の東方、龜山に鎮座す。西方の御殿を一の御殿、中央を二の御殿、東方を三の御殿と稱し、一の御殿に應神天皇を、二の御殿に比賣大神を、三の御殿に神功皇后を祀れり。境内古木鬱鬱、寄藻川其麓を繞つて流れ、大尾山其東に峙ち、一たび足を瑞籬の内に容るれば、閑古幽寂、威靈身に迫り、心氣自ら清澄にして、覺えず襟を正うして神徳を仰がしむ。





宇佐神宮石段

社殿の西方にあり兩側は、古木鬱蒼として、晝猶暗く、歩々、神威に咫尺するを覺ゆ。





宇佐神宮吳橋

宇佐神宮の西方、寄藻川に架したる橋なり。元和年間、細川氏の寄進に係る、夏夕橋上に立てば、螢火水に落ち、白露月光を帯び、清爽の氣衣袂に滿つ。







富貴寺

西國東郡の南部、田染村にあり。天台宗延暦寺の末寺たり。養老年中、僧仁開の創むる所。堂の高さ四丈、方五間、柱、牆壁、障扉等、皆佛像を畫き、金碧五彩、として目を奪ふ。近年國寶に指定せらる。





鍋山

西國東郡の南部、田染村にあり。奇巖突兀として、天に聳え、溪流潺湲影を蘸して流る、風景頗る雅致、土人呼んで、小耶馬溪といふ。





高田町全景

西國東郡の西端にあり。舊島原藩の所領たり。戸數千八百餘、人口一万九百餘、桂川市街の中央を貫流し、河口は高田港たり。西國東郡役所、玉津警察署、玉津稅務署、玉津區裁判所、郵便局等あり。





大分縣模範林

東國東郡の西部、兩子山にあり。明治三十五年の設立にして、二百餘町歩杉、扁柏、松、櫟を植う。





姫島燈臺

東國東郡姫島の東端にあり。明治三十七年三月の設立に係る。第四等連閃白光にして、光力二十裡に達す。





縣社奈多神社

東國東郡奈狩江村にあり。境内老樹蒼鬱として、前面一帯、豊後洋に枕み、十里の沿岸白砂青松ならざるはなく、海上迥かに、佐賀關及び伊豫の佐田岬を望み、風光畫くが如し。祭神は應仁天皇、比賣大神、神功皇后なり。由緒ある古祠にして、一條天皇の宸筆、後水尾天皇の勅書、其他寶物多し。





### 日出町及港

日出町は速見郡の南海岸にあり。舊木下氏の城市にして、戸數八百、人口四千二百、速見郡役所日出警察署、日出郵便局、日出稅務署、日出小林區署等あり。日出港は、市街の南方にあり。海水深く陸地に灣入して、天然の良港をなす。且つ豊後灣を隔て、由布、鶴見、高崎の諸山を望む所、風景絶佳、宛一幅の好圖畫たり。



觀海寺

速見郡の南部、別府町を距る事、西二十町にあり。石垣原の古戰場を隔て、直ちに豊後灣に接し、碧波萬頃、舟帆織るが如きもの、皆一眸の中に集る。觀海の名の起る所以なり。湧泉あり浴すべく、瀑あり灌ぐべし、四時浴客を絶たず。





血の池地獄

速見郡御越町にあり。徑十餘丈、沸湧せる熱湯其色朱の如く、注ぐ所の谿流、宛然紅を流すが如し。血の池地獄の左方に當り、青綠色の地獄あり、其距離數尺に過ぎず。紅綠相對して、一層の奇觀を添ふ。





海 地 獄

別府町を距る、西北一里餘にあり、徑數丈深さ測るべからず。其色深緑にして、蒼海に似たり。故に此名あり。渦巻き騰る湯烟は、沸々として、凄壯を極め、遠く數里の外より、望見する事を得べし。



柴石温泉

速見郡御越町の西方、山中にあり。含鐵炭酸泉にして、貧血の諸症に効あり。加ふるに、境域閑雅幽邃にして、山水の景趣に富み、最も療瀾に適す。此附近の礬土を掘れば、木の葉石を出す、柴石の地名、是に因るなるべし。





別府町全景

速見郡の東南端にあり。戸數二千六百、人口一萬三千西、  
鶴見山を負ひ東、豊後海に面す、市街は、南北に沿うて、波  
光並影の間に、縦横相望み、風光絶佳、加ふるに空氣清鮮、  
氣候溫和、到る處温泉沸湧し、水には鮮鱗あり、陸には蔬  
菜あり、海陸の交通亦至便にして、大浴場十箇所あり。浴  
客年々七八十萬を下らず。別府警察署、別府郵便局、電車  
鐵道會社、工業徒弟學校、朝見病院等あり、物産は、竹細工  
を主とし、其他、漆器、轆轤細工等、工藝品多し。

別府

廣瀬 淡窓

樓上離歌歌、

江頭欸乃新、

歸舟回首處、

猶見倚欄人。

全

長梅外

潮退風喧落日斜、

海汀一帶也繁華、

浴砂人臥半身出、

恰似春泥着落花。







### 別府町立工業徒弟學校

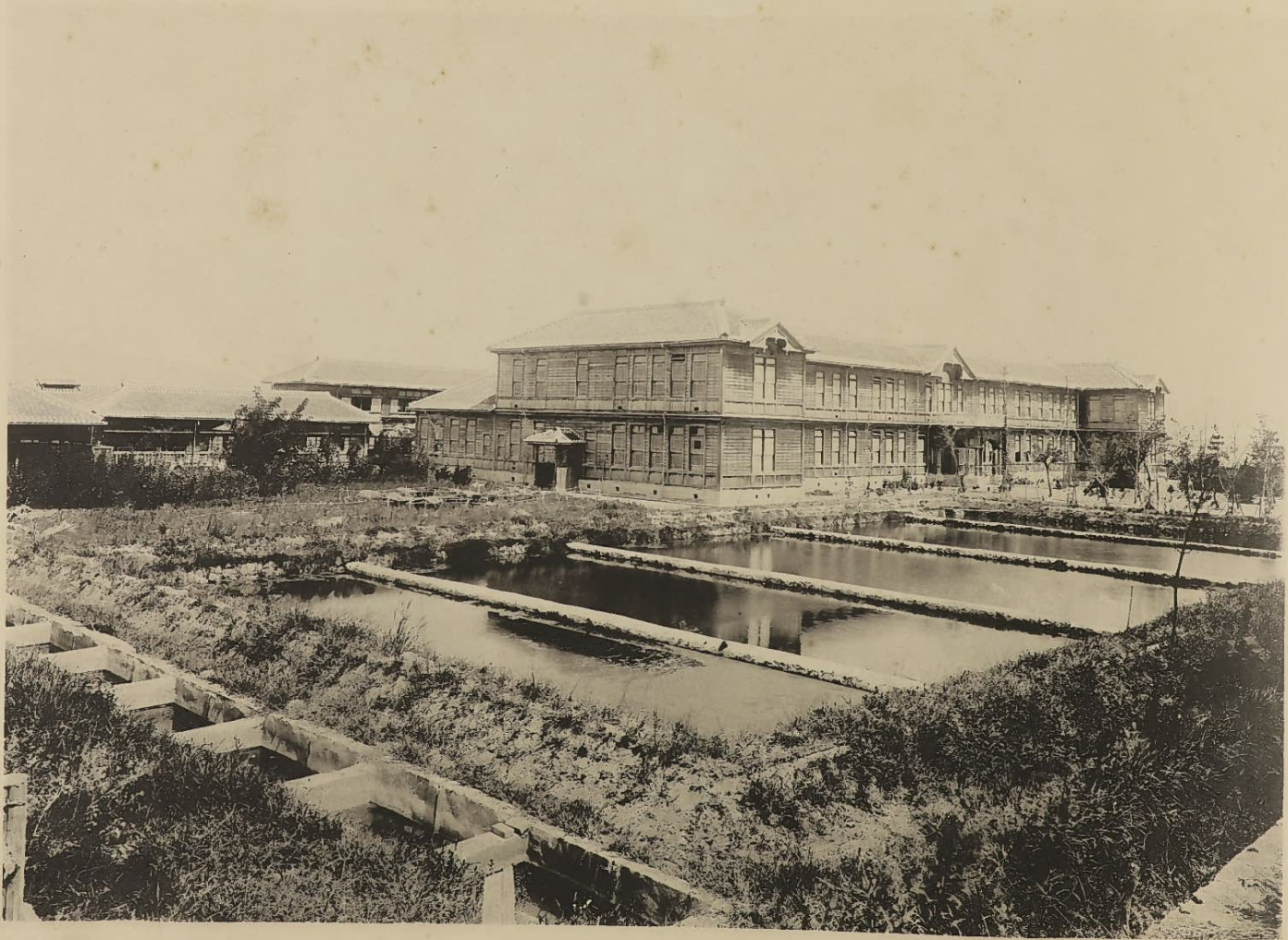
速見郡別府町にあり。明治三十五年の設立にして、指物科、挽物科、髹漆科、蒔繪科、建築科、竹籃科を置き、生徒數百十人、規模宏壯ならずと雖ども、校風の美、全國有數の學校なりと稱せらる。



### 縣立農學校

速見郡御越町にあり。明治三十九年四月の新築にして、  
農科、水産科、獸醫科を置き、生徒數二百三十三名あり。西、  
御越町の温泉を控え、東、渺茫たる豊後洋に面し、頗る形  
勝の地たり。





杵築町及港

速見郡の東北端にあり。舊松平氏の城市たり。戸數一千三百、人口六千五百。北方に杵築港あり。盛に青蕈、米穀を輸出す。縣立杵築中學校、杵築區裁判所、警察分署、郵便局等あり。





赤松橋

國道線にあり。明治三十年速見郡藤原村八坂川に架設  
せる一大石橋にして、精巧壯觀を極む、これより東數町  
にして、空也上人の開基に係る著名の古刹、赤松山願成  
就寺あり、遐邇參拜の老若、恒に絶ゆることなし。



明治四十年十月十九日印刷  
明治四十年十月二十一日發行

著作者 大分縣

發行者兼

兒童新聞社主

關口榮

東京市神田區末廣町拾番地  
(電話下谷八百四番)

不許複製



